

鶏肉情勢

令和2年5月7日 更新

全農チキンフーズ㈱

項目		内 容		実 績																																																																																																		
生	1. 国内	<p>(1) 生産・処理動向調査(一社)日本食鳥協会4月下旬実施)によると、3月の推計実績は、処理羽数61,846千羽(前年比101.6%)・処理重量185.0千ト(同102.6%)と前月時点の計画値と比較すると処理羽数(同101.9%)は若干下回ったものの処理重量(同102.6%)はほぼ計画とおりとなった。関東地区で処理重量(同95.6%)が下回ったものの主要産地である北海道・東北地区(同102.8%)・北部九州地区(同103.8%)が順調に推移しカバーした形となった。また、3月の生鳥処分は疾病等での廃棄合計3.89%(前年差+0.26%)と微増した。</p> <p>(2) 4月計画は処理羽数(前年比102.9%)・処理重量(同101.8%)、5月計画も処理羽数(同99.6%)・処理重量(同97.3%)と同月とも前月時点に出した計画とほぼ同じ。6月計画は処理羽数(同104.8%)・処理重量(同102.2%)とも前年を上回る見通しとなっている。新型コロナウイルスの感染拡大の影響は、鳥インフルエンザ発生の場合と異なり、生産面で直接の影響はないものの、処理場従業員等が罹患した場合のBCP対策が課題になると考えられる。消費面では、インバウンド需要の激減、小中高校の休校による学校給食の停止、大規模イベント等の中・自粛や夜間の外出自粛等による鶏肉消費の落ち込みが激しくなっている。逆に内食需要の高まりから、直近では量販店等で荷動きが見られる、鶏肉相場は落ち込みもせず、弱保合程度の推移に留まっている。しかし、自粛ムードが長期化すれば、内食需要はあるものの、外食も含め鶏肉全体の消費停滞も考えられるため、早い終息が望まれる。</p>		<p>生産状況 単位:千羽、千トン、%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R2年3月推計実績</th> <th colspan="2">R2年4月計画</th> <th colspan="2">R2年5月計画</th> <th colspan="2">R2年6月計画</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>前年比</th> <th>数量</th> <th>前年比</th> <th>数量</th> <th>前年比</th> <th>数量</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入雛羽数</td> <td>62,638</td> <td>101.9%</td> <td>62,723</td> <td>100.6%</td> <td>61,869</td> <td>100.5%</td> <td>59,931</td> <td>104.6%</td> </tr> <tr> <td>処理羽数</td> <td>61,846</td> <td>101.6%</td> <td>61,731</td> <td>102.9%</td> <td>59,740</td> <td>99.6%</td> <td>59,747</td> <td>104.8%</td> </tr> <tr> <td>処理重量</td> <td>185.0</td> <td>102.6%</td> <td>183.4</td> <td>101.8%</td> <td>178.1</td> <td>97.3%</td> <td>177.5</td> <td>102.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」</p>											R2年3月推計実績		R2年4月計画		R2年5月計画		R2年6月計画		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	入雛羽数	62,638	101.9%	62,723	100.6%	61,869	100.5%	59,931	104.6%	処理羽数	61,846	101.6%	61,731	102.9%	59,740	99.6%	59,747	104.8%	処理重量	185.0	102.6%	183.4	101.8%	178.1	97.3%	177.5	102.2%																																													
					R2年3月推計実績		R2年4月計画		R2年5月計画		R2年6月計画																																																																																											
数量	前年比	数量	前年比		数量	前年比	数量	前年比																																																																																														
入雛羽数	62,638	101.9%	62,723	100.6%	61,869	100.5%	59,931	104.6%																																																																																														
処理羽数	61,846	101.6%	61,731	102.9%	59,740	99.6%	59,747	104.8%																																																																																														
処理重量	185.0	102.6%	183.4	101.8%	178.1	97.3%	177.5	102.2%																																																																																														
産	2. 輸入	<p>(1) 財務省が4月28日に公表した貿易統計によると、3月の鶏肉(原料肉)輸入量は46.7千ト(前年比118.1%)で、日本食肉輸出協会の子測(44.1千ト)を約2.6千ト上回った。国別ではブラジルが子測を約1.3千ト上回る33.8千ト(同115.6%)、タイも約1.2千ト上回る11.4千ト(同130.6%)となった。主要の両国が大幅に上回ったことで全体でも2割近く上回っていて、1-3月累計で前年比7.5%増となっている。同協会(4月22日取り纏め)によると4月43.8千ト(同92.7%)・5月43.25千ト(同92.9%)と予測されている。今回は新型コロナウイルス感染拡大を受けて書面開催となったためコメントはなしとなった。前述の影響による流通の乱れや米国で鳥インフルエンザが発生したことに伴う輸入停止措置等で下回るものの、外食向けなど需要が大きく減少しており、当面供給過剰含みでの推移となると思われる。</p> <p>(2) 鶏肉調整品の3月輸入量は42.7千ト(前年比100.4%)と、前月より約10千ト増加し前年並みに回復した。国別ではタイ産は前年比104.9%の27.3千トと増加し、中国産も国内での新型コロナウイルスの感染等で前月は大幅に減少したものの前月比約8千ト増の14.9千トとなった。4月以降については、中国の動向次第ではあるが国内向け需要増もあり調整品全体の輸入減少が見込まれる。</p>		<p>単位:千トン、%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="3">鶏肉</th> <th colspan="3">調製品</th> <th colspan="3">合計</th> <th colspan="2">比率</th> </tr> <tr> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>鶏肉</th> <th>調製品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R元年12月</td> <td>44.9</td> <td>47.0</td> <td>95.6</td> <td>46.9</td> <td>46.1</td> <td>101.6</td> <td>91.8</td> <td>93.1</td> <td>98.6</td> <td>48.9</td> <td>51.1</td> </tr> <tr> <td>R2年1月</td> <td>41.6</td> <td>42.0</td> <td>99.2</td> <td>39.3</td> <td>42.4</td> <td>92.7</td> <td>80.9</td> <td>84.4</td> <td>95.9</td> <td>51.4</td> <td>48.6</td> </tr> <tr> <td>R2年2月</td> <td>43.9</td> <td>41.5</td> <td>105.9</td> <td>32.0</td> <td>35.4</td> <td>90.3</td> <td>75.9</td> <td>76.9</td> <td>98.7</td> <td>57.9</td> <td>42.1</td> </tr> <tr> <td>R2年3月</td> <td>46.7</td> <td>39.6</td> <td>118.1</td> <td>42.7</td> <td>42.5</td> <td>100.4</td> <td>89.4</td> <td>82.1</td> <td>108.9</td> <td>52.2</td> <td>47.8</td> </tr> <tr> <td>R2年累計</td> <td>132.2</td> <td>123.0</td> <td>107.5</td> <td>114.0</td> <td>120.3</td> <td>94.7</td> <td>246.2</td> <td>243.3</td> <td>101.2</td> <td>53.7</td> <td>46.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」、全国食鳥新聞</p>										品名	鶏肉			調製品			合計			比率		当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品	R元年12月	44.9	47.0	95.6	46.9	46.1	101.6	91.8	93.1	98.6	48.9	51.1	R2年1月	41.6	42.0	99.2	39.3	42.4	92.7	80.9	84.4	95.9	51.4	48.6	R2年2月	43.9	41.5	105.9	32.0	35.4	90.3	75.9	76.9	98.7	57.9	42.1	R2年3月	46.7	39.6	118.1	42.7	42.5	100.4	89.4	82.1	108.9	52.2	47.8	R2年累計	132.2	123.0	107.5	114.0	120.3	94.7	246.2	243.3	101.2	53.7	46.3						
				品名	鶏肉			調製品			合計				比率																																																																																							
当年	前年	前年比	当年		前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品																																																																																											
R元年12月	44.9	47.0	95.6	46.9	46.1	101.6	91.8	93.1	98.6	48.9	51.1																																																																																											
R2年1月	41.6	42.0	99.2	39.3	42.4	92.7	80.9	84.4	95.9	51.4	48.6																																																																																											
R2年2月	43.9	41.5	105.9	32.0	35.4	90.3	75.9	76.9	98.7	57.9	42.1																																																																																											
R2年3月	46.7	39.6	118.1	42.7	42.5	100.4	89.4	82.1	108.9	52.2	47.8																																																																																											
R2年累計	132.2	123.0	107.5	114.0	120.3	94.7	246.2	243.3	101.2	53.7	46.3																																																																																											
需 要	1. 家計消費	<p>(1) 総務省統計局発表の家計調査報告によると、2月は、全国一世帯当たりの3畜種生鮮肉の消費(購入)数量は3,734g(前年比103.6%)、金額は5,519円(同105.4%)となった。新型コロナウイルスの影響による家庭内消費の高まりから堅調に推移したことが伺える。牛肉は数量(同106.4%)・金額(同109.8%)ともに上回り、豚肉も数量(同105.5%)・金額(同104.9%)ともに上回った。鶏肉についても同様でテールブルーム等の販売が回復し数量(100.4%)・金額(同100.9%)とも前年並みとなった。また金額でやきとり(同114%)、カツカツ(同113%)が昨年を大幅に上回った。</p>		<p>鶏肉の消費動向(2人以上の世帯) 単位:グラム、円、%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">履歴</th> <th colspan="3">数量</th> <th colspan="3">金額</th> </tr> <tr> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R元年12月</td> <td>1,625</td> <td>1,765</td> <td>92.1</td> <td>1,605</td> <td>1,665</td> <td>96.4</td> </tr> <tr> <td>R2年1月</td> <td>1,358</td> <td>1,429</td> <td>95.0</td> <td>1,309</td> <td>1,348</td> <td>97.1</td> </tr> <tr> <td>R2年2月</td> <td>1,402</td> <td>1,397</td> <td>100.4</td> <td>1,310</td> <td>1,298</td> <td>100.9</td> </tr> <tr> <td>R2年平均</td> <td>1,380</td> <td>1,413</td> <td>97.7</td> <td>1,310</td> <td>1,323</td> <td>99.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※参考資料:総務省統計局HP</p>										履歴	数量			金額			当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	R元年12月	1,625	1,765	92.1	1,605	1,665	96.4	R2年1月	1,358	1,429	95.0	1,309	1,348	97.1	R2年2月	1,402	1,397	100.4	1,310	1,298	100.9	R2年平均	1,380	1,413	97.7	1,310	1,323	99.0																																																
				履歴	数量			金額																																																																																														
	当年	前年	前年比		当年	前年	前年比																																																																																															
R元年12月	1,625	1,765	92.1	1,605	1,665	96.4																																																																																																
R2年1月	1,358	1,429	95.0	1,309	1,348	97.1																																																																																																
R2年2月	1,402	1,397	100.4	1,310	1,298	100.9																																																																																																
R2年平均	1,380	1,413	97.7	1,310	1,323	99.0																																																																																																
2. 量販・卸	<p>(1) 食品関連スーパー3団体の販売統計速報によると、3月の食品売上高は全店ベースで前年比109.9%と大きく上回り、生鮮3部門の売上高も全店ベースで前年比109.1%、既存店ベースでも同107.5%と上回った。畜産部門の売上高は1,152億円で全店ベース(同112.3%)、既存店ベース(同110.8%)とも上回った。「新型コロナウイルスの影響による内食需要の高まりを受け、牛・豚・鶏いずれも好調であり、なかでも冷凍保存目的の購入向け大容量パックや、簡便調理用の味付け食材が好調となった。相場が低下傾向にあることで、国産の動きがよいとのコメントもみられた。ハムやソーセージなどにも、一部にはまとめ買いの動きがみられた。高い気温により、焼肉用食材は好調となったが、すき焼き、鍋用の食材は動きが悪かった。」と報告された。また、惣菜部門(同100.6%・同99.5%)については、一斉休校による昼食ニーズの増加による需要増加はあったもののオードブルや弁当需要の激減、バラ売り販売を中止しパック販売を行うことで製造量も増やせず、在宅勤務の増加により仕事帰りの惣菜購入ニーズが減少した店舗もみられ、全体としてはやや不調となった。と報告された。</p>		<p>相場(年別・暦年) 単位:円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>もも肉</th> <th>むね肉</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年</td> <td>626</td> <td>294</td> <td>920</td> </tr> <tr> <td>H27年</td> <td>639</td> <td>336</td> <td>975</td> </tr> <tr> <td>H28年</td> <td>621</td> <td>255</td> <td>876</td> </tr> <tr> <td>H29年</td> <td>626</td> <td>315</td> <td>941</td> </tr> <tr> <td>H30年</td> <td>595</td> <td>282</td> <td>877</td> </tr> <tr> <td>R元年</td> <td>585</td> <td>243</td> <td>828</td> </tr> </tbody> </table>											もも肉	むね肉	計	H26年	626	294	920	H27年	639	336	975	H28年	621	255	876	H29年	626	315	941	H30年	595	282	877	R元年	585	243	828																																																														
				もも肉	むね肉	計																																																																																																
H26年	626	294	920																																																																																																			
H27年	639	336	975																																																																																																			
H28年	621	255	876																																																																																																			
H29年	626	315	941																																																																																																			
H30年	595	282	877																																																																																																			
R元年	585	243	828																																																																																																			
3. 業務・加工筋	<p>(1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによる2月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比106.2%の4.12千トとなった。うち国内物は同111.2%の3.517千トと大幅に増加したものの、輸入物は同83.8%の0.601千トと下回った。鶏肉加工品は3月以降も家庭内需要や中食需要の高まりから動きも堅調と考えられ、逆に中国等からの調整品輸入が減少となっていることを考えると国産物での製造量増加が期待できると思われる。</p>																																																																																																					
在 庫	1. 令和2年2月	<p>(1) 推計期末在庫は国産29.8千ト(前年比103.3%・前月差+0.46千ト)、輸入品137.9千ト(同106.1%・同+1.14千ト)と合計で167.7千ト(同105.6%・同+1.60千ト)となった。生産量が0.7千ト減少したものの、輸入量が約2.3千ト増加した。国産品の出荷量が生産量を若干下回ったため、国産品の在庫は微増し、昨年比でも微増となっている。輸入品は、出荷量が約4.3千ト増加の42.7千トだったため在庫が微増し、前年からも上回った。</p>		<p>単位:千トン、%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">履歴</th> <th colspan="3">国産</th> <th colspan="3">輸入品</th> <th colspan="3">合計</th> </tr> <tr> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R元年11月</td> <td>28.6</td> <td>28.4</td> <td>100.6</td> <td>137.6</td> <td>137.8</td> <td>99.9</td> <td>166.2</td> <td>166.2</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>R元年12月</td> <td>28.2</td> <td>26.1</td> <td>108.1</td> <td>133.6</td> <td>133.3</td> <td>100.2</td> <td>161.8</td> <td>159.4</td> <td>101.5</td> </tr> <tr> <td>R2年1月</td> <td>29.3</td> <td>27.5</td> <td>106.8</td> <td>136.8</td> <td>134.7</td> <td>101.6</td> <td>166.1</td> <td>162.1</td> <td>102.5</td> </tr> <tr> <td>R2年2月</td> <td>29.8</td> <td>28.8</td> <td>103.3</td> <td>137.9</td> <td>130.0</td> <td>106.1</td> <td>167.7</td> <td>158.9</td> <td>105.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※実績参考資料:畜産日報、農畜産業振興機構</p>										履歴	国産			輸入品			合計			当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	R元年11月	28.6	28.4	100.6	137.6	137.8	99.9	166.2	166.2	100.0	R元年12月	28.2	26.1	108.1	133.6	133.3	100.2	161.8	159.4	101.5	R2年1月	29.3	27.5	106.8	136.8	134.7	101.6	166.1	162.1	102.5	R2年2月	29.8	28.8	103.3	137.9	130.0	106.1	167.7	158.9	105.6																														
				履歴	国産			輸入品			合計																																																																																											
当年	前年	前年比	当年		前年	前年比	当年	前年	前年比																																																																																													
R元年11月	28.6	28.4	100.6	137.6	137.8	99.9	166.2	166.2	100.0																																																																																													
R元年12月	28.2	26.1	108.1	133.6	133.3	100.2	161.8	159.4	101.5																																																																																													
R2年1月	29.3	27.5	106.8	136.8	134.7	101.6	166.1	162.1	102.5																																																																																													
R2年2月	29.8	28.8	103.3	137.9	130.0	106.1	167.7	158.9	105.6																																																																																													
2. 見通し	<p>(1) (独)農畜産業振興機構の需給予測(4月27日公表)では、3月は国内生産量が前月比で約5.8千ト増加、輸入量も前月比で約0.2千ト増加、出荷量も前月比で約4.9千ト増加するものの期末在庫は約170.4千トと前月より約2.7千ト増加し、前年より約11.9%増加の見通しとなっている。</p> <p>(2) 4月は前月比で生産量は4.7千ト減少するも、輸入量がブラジル中心に0.3千ト減少し、出荷量は2.7千ト増加することから期末在庫は国産・輸入品合計で5.0千ト減少の165.4千ト(前年比108.0%)と予測されている。5月は生産量は0.5千ト増加するも、輸入量が0.5千ト減少し、出荷量は1.1千ト増加するため、在庫は6.2千ト減少の159.2千ト(前年比104.2%)と前年を上回る予測となっているが、前月に続き新型コロナウイルスの影響による需給動向に注視が必要である。</p>																																																																																																					
相 場	1. 4月動向	<p>(1) 4月の平均相場は、もも肉581円/kg(前月比+6円)・むね肉241円/kg(同△2円)正肉合計で822円/2kgと前月比で4円上回ったものの、前年比では11円下回った。もも肉は内食需要の高まりから月初め575円で始まり、乱高下を繰り返し、月末相場591円と結果の16円高となった。むね肉は、もも肉と同調する形も、月初め242円・月末246円と4円高と保ち合い圏内となった。外食関係が不振の中、量販店等からの引き合いに左右された格好になったと思われる。</p>		<p>単位:円、%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="3">もも肉</th> <th colspan="3">むね肉</th> <th colspan="3">正肉合計</th> </tr> <tr> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2年1月</td> <td>622</td> <td>648</td> <td>96.0</td> <td>262</td> <td>271</td> <td>96.7</td> <td>884</td> <td>919</td> <td>96.2</td> </tr> <tr> <td>R2年2月</td> <td>597</td> <td>650</td> <td>91.8</td> <td>253</td> <td>256</td> <td>98.8</td> <td>850</td> <td>906</td> <td>93.8</td> </tr> <tr> <td>R2年3月</td> <td>575</td> <td>628</td> <td>91.6</td> <td>243</td> <td>238</td> <td>102.1</td> <td>818</td> <td>866</td> <td>94.5</td> </tr> <tr> <td>R2年4月</td> <td>581</td> <td>601</td> <td>96.7</td> <td>241</td> <td>232</td> <td>103.9</td> <td>822</td> <td>833</td> <td>98.7</td> </tr> <tr> <td>R2年5月</td> <td>(610)</td> <td>583</td> <td>104.6</td> <td>(250)</td> <td>227</td> <td>110.1</td> <td>(860)</td> <td>810</td> <td>106.2</td> </tr> <tr> <td>R2年6月</td> <td>(610)</td> <td>561</td> <td>108.7</td> <td>(250)</td> <td>226</td> <td>110.6</td> <td>(860)</td> <td>787</td> <td>109.3</td> </tr> <tr> <td>R2年平均</td> <td>594</td> <td>632</td> <td>94.0</td> <td>250</td> <td>249</td> <td>100.4</td> <td>844</td> <td>881</td> <td>95.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※()は見通し ※1-4月平均</p>										品名	もも肉			むね肉			正肉合計			当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	R2年1月	622	648	96.0	262	271	96.7	884	919	96.2	R2年2月	597	650	91.8	253	256	98.8	850	906	93.8	R2年3月	575	628	91.6	243	238	102.1	818	866	94.5	R2年4月	581	601	96.7	241	232	103.9	822	833	98.7	R2年5月	(610)	583	104.6	(250)	227	110.1	(860)	810	106.2	R2年6月	(610)	561	108.7	(250)	226	110.6	(860)	787	109.3	R2年平均	594	632	94.0	250	249	100.4	844	881	95.8
				品名	もも肉			むね肉			正肉合計																																																																																											
当年	前年	前年比	当年		前年	前年比	当年	前年	前年比																																																																																													
R2年1月	622	648	96.0	262	271	96.7	884	919	96.2																																																																																													
R2年2月	597	650	91.8	253	256	98.8	850	906	93.8																																																																																													
R2年3月	575	628	91.6	243	238	102.1	818	866	94.5																																																																																													
R2年4月	581	601	96.7	241	232	103.9	822	833	98.7																																																																																													
R2年5月	(610)	583	104.6	(250)	227	110.1	(860)	810	106.2																																																																																													
R2年6月	(610)	561	108.7	(250)	226	110.6	(860)	787	109.3																																																																																													
R2年平均	594	632	94.0	250	249	100.4	844	881	95.8																																																																																													
2. 5月見通し	<p>(1) 気象庁は、5月の天気は数日の周期で変わり、平年同様晴れの日が多く、平均気温も高い確率60%と予測している。新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が継続される中、月中多少の上昇・下降はあると思われるがもも肉は月平均610円の上昇基調と予測する。むね肉についても、加工筋からの引合いも堅調であるため、若干の上げで月平均250円と予測する。</p>																																																																																																					